オプション検査案内

オプション検査は性別や年齢、家族歴、生活習慣、前回の結果などによって、それぞれにおすすめ したい検査が異なります。以下の案内を参考にしてご検討ください。

かかりつけ医のある方は主治医にもご相談ください。

また、自覚症状のある方はオプション検査ではなく病院を受診して保険診療を受けてください。

【がん検診】

胸部 CT 検査 (肺がん)

通常の胸部レントゲン写真では見えにくい微小ながんや心臓や骨に隠れた病変を発見します。 他にも気管や気管支などを観察します。肺がんはがん死亡原因の男性第1位、女性第2位です。

おすすめしたい方 ○喫煙者や過去に喫煙歴のある方

(特に喫煙指数=1日の平均喫煙本数×喫煙年数が600以上の方)

料金:8.800円(税込)

料金:17,050円(税込)

料金: 2,200 円(税込)

- ○同居家族が喫煙する方
- ○肺の病気の家族歴がある方

注意事項 ○妊娠または妊娠の可能性がある方は受けられません

大腸内視鏡(大腸カメラ)検査(大腸がん)

がん死亡原因の女性第1位、男性第2位です。出血しないポリープや早期がんもあるため、検便検査だけでは不十分です。

おすすめしたい方 ○便秘や下痢などの便通異常が気になる方

○40歳以上で一度も大腸カメラ検査を受けたことがない方

注意事項 ○健診と同日に行うことはできません

- ○検査前に消化器内視鏡専門医の問診・診察があります
- ○ポリープ切除などの治療行為は行いません。
- ○人間ドックや健康診断で便潜血反応検査が陽性と指摘された方や血便の症状がある方、 大腸ポリープを切除したことがある方などは、保険診療となりますので消化器内科で のご予約をお勧めします。

腫瘍マーカー PSA 検査(前立腺がん)

中高年の男性に急増する前立腺がんを高い精度で早期に発見する血液検査です。50歳以上の男性の方は、排尿に関する症状がなくても一度は検査を受けることをおすすめします。

マンモグラフィ(乳がん)

料金: 4,400 円(税込)

乳がん検診方法として効果があることが確認されている検査方法で、乳房を板で挟みながら圧迫して 2 方向からレントゲン撮影します。早期の小さな乳がんやしこりを作らない乳がん、石灰化を見つけるのに有効です。乳がんは女性の中では最も多いがんで、9 人に 1 人がかかると言われています。40 歳代後半から 60 歳代はとくにかかりやすい年齢です。早期に発見して治療すれば比較的生存率の高いがんです。

おすすめしたい方 ○40歳以上の女性

注意事項 ○検査機器で乳房を圧迫するため、痛みを伴うことがあります

- ○豊胸手術やペースメーカーを装着されている方は受けられません
- ○乳がん術後や外来で経過観察中の方は、保険診療での検査をおすすめします
- ○妊娠または妊娠の可能性がある方は受けられません

乳房超音波検査(乳がん)

料金:4,950円(税込)

乳腺濃度が高い(高濃度乳腺)の方は、マンモグラフィだけでは病変の認識が困難な場合があるため、マンモグラフィと併用することでがん発見率上昇が期待できます。

おすすめしたい方 ○マンモグラフィで高濃度乳腺を指摘された方

注意事項 ○いきいき受診券で乳がん検診を予約された方は受けられません

- ○人数制限があります(1日2名まで)
- ○午後からの検査になります

子宮頸がん検診【子宮頸がん検査・経腟超音波検査】

(子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がんなど)

料金:5,500円(税込)

ブラシで子宮頸部の細胞を採り、がん細胞がないか調べます。以前は子宮頸がんは 40 歳代が最も多いと言われていましたが、最近では性交渉によるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が原因で、20~30 歳代にも前がん状態の異形成が見つかる方が増えています。超音波検査は卵巣や子宮内膜、子宮筋腫などの病変を見つけるのに有効です。

おすすめしたい方 〇20 歳以上で性交体験のある女性の方

○卵巣がん、乳がんの家族歴がある方

腹部超音波検査(肝臓がん・すい臓がん・腎がんなど) 料金:5,500円(税込)

人間ドックコースには含まれます

超音波を使って腹部の臓器を観察する検査法です。無症状で進行するがんの早期発見につながる大切な検査です。低侵襲で検査時間も 10 分程度です。ただし、消化管ガスの影響や体型によっては描出が難しい場合があるため、描出範囲内での評価になります。対象臓器は肝臓・膵臓・胆のう・総胆管・腎臓・脾臓・腹部大動脈です。がん以外にも脂肪肝や胆石、腎結石などが見つかることが多いです。

おすすめしたい方 ○40 歳以上の方

- ○肥満体型の方やお酒を毎日飲んでいる方
- ○血液検査で肝機能異常や検尿異常を指摘されたことがある方

注意事項 ○食後は観察が不十分となるため空腹時での検査となります

【脳・血管・心臓系の検査】

頭部 MRI、MRA 検査

強い磁力を使って被爆の心配なく脳の断面や脳血管を画像化します。脳腫瘍、脳梗塞、脳萎縮や脳動脈瘤、動脈の狭窄の有無がわかります。

おすすめしたい方 〇くも膜下出血、脳出血、脳梗塞の家族歴がある方

- ○高血圧・糖尿病・脂質異常症がある方
- ○飲酒・喫煙の習慣がある方
- ○頭痛持ちの方

注意事項 ○妊娠または妊娠の可能性がある方は受けられません

○閉所恐怖症の方、体内に金属が入っている方は受けられない場合がありますので、 事前にお問い合わせが必要です

頚動脈超音波検査

料金:3,850 円(税込)

料金:16,500円(税込)

頚動脈を超音波で観察します。動脈の内膜の厚さや狭窄の有無など、動脈硬化の程度が画像でわかります。

おすすめしたい方 〇高血圧、糖尿病、脂質異常症がある方

- ○喫煙歴のある方
- ○メタボリックシンドロームと判定された方

血圧脈波検査 料金:2,200 円(税込)

四肢の血圧を同時に測定し、血管の硬さや下肢動脈血流の状態を数値化して血管年齢を調べます。動脈硬化や脳心血管系のリスクの有無がわかります。

おすすめしたい方 〇高血圧、糖尿病、脂質異常症がある方

- ○喫煙歴のある方
- ○メタボリックシンドロームと判定された方

注意事項 ○四肢に外傷や炎症のある方は医師による面談が必要です

BNP 検査 料金:2,530 円(税込)

心臓に負担がかかった状態かどうかを調べる、かくれ心不全を見つける血液検査です。

おすすめしたい方 〇心臓の病気が心配な方

○むくみが気になる方

注意事項 ○肥満や腎機能などの影響を受けるため、高いからといって必ずしも心不全と診断 することはできません。

料金:3,300円(税込)

【その他のオプション検査】

内臟脂肪 CT 検査

内臓脂肪と皮下脂肪が数値と画像でわかります。

おすすめしたい方 〇自分の脂肪量を知りたい方

○メタボリックシンドロームと判定された方

注意事項 ○妊娠または妊娠の可能性がある方は受けられません

体組成測定検査 料金:1,650円(税込)

体脂肪量、体水分量、筋肉量などを測定します。筋肉量は上肢・下肢・体幹別に図で表示されます。

おすすめしたい方 ○現在の自分の脂肪量や筋肉量を知りたい方 注意事項 ○ペースメーカーを装着されている方は受けられません

骨密度検査 料金:4,510 円(税込)

骨を構成しているカルシウムの量を測り骨密度を調べます。大腿骨頸部と腰椎の骨密度を測定します。

おすすめしたい方 〇40 歳以上の閉経後の女性や60歳以上の男性

- ○やせている方やダイエット経験のある方
- ○骨折(特に圧迫骨折)したことのある方

注意事項 ○妊娠または妊娠の可能性がある方は受けられません

ヘモグロビン A1c *人間ドックコースには含まれます*

料金:550円(税込)

過去1~2か月間の平均した血糖の状態を調べる血液検査です。

おすすめしたい方 〇糖尿病の家族歴がある方

○空腹時や随時血糖値の異常や尿糖を指摘されたことのある方

HPV 検査 料金:4,400 円(税込)

子宮頸がんをおこすヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を調べる検査精度の高い検査です。

おすすめしたい方 ○性交体験のある女性すべての方 注意事項 ○子宮頸部細胞診と同時に実施できます

塩分摂取量測定 料金:550円(税込)

一日の塩分摂取量を予測する尿検査です。

おすすめしたい方 〇血圧が高いといわれたことがある方

- ○むくみが気になる方
- ○味の濃い料理を好まれる方や外食の多い方

【オプションセット料金】

頭部 MRI·MRA 検查+血圧脈波検查+頚動脈超音波検査

動脈硬化の検査を希望する方におすすめです。

料金: 22,000円(税込)

料金:7,700円(税込)

骨密度検査+頚動脈超音波検査

閉経後の女性におすすめです。

子宮頸がん検診+HPV 検査 料金:9,460 円(税込)

性交体験のある女性すべての方におすすめです。

子宮頸がん検診+骨密度検査 料金:8,800円(税込)

【年代別おすすめオプション】

<女性の全年代>

女性は子宮がんや乳がんの検査をおすすめします。比較的若い方もかかりやすいのが特徴なので、 子宮がんの検査は20代から、乳がんの検査は30代後半から受けましょう。

料金: 10,450 円(税込)

<40代>

飲酒や喫煙などによる生活習慣病が出てくる年代です。飲酒によって肝臓に負担がかかっているので<mark>腹部超音波検査</mark>がおすすめです。喫煙では肺へ負担がかかるだけでなく、動脈硬化による脳卒中や虚血性心疾患のリスクが高まります。<mark>胸部CT検査</mark>で肺がんを、<mark>血圧脈波検査や頸動脈超音波検査</mark>で動脈硬化の程度を調べることをおすすめします。

女性で40代のうちに閉経された方には、骨密度検査をおすすめします。

<50 代以上>

がんや心血管系の病気にかかりやすくなる年代です。がん対策としては、<mark>胃検査や大腸内視鏡検査、胸部CT検査、腹部超音波検査</mark>を定期的に受けましょう。動脈硬化のリスクのある方は、<mark>血圧脈波検査や頸動脈超音波検査や脳ドック</mark>をおすすめします。

男性は前立腺がんを調べるための PSA 検査を検討しましょう。特に前立腺がんの家族歴のある方には強くおすすめします。

女性はほぼ閉経を迎えるため、女性ホルモンの低下による骨密度低下や動脈硬化が現れてきます。 骨密度検査や動脈硬化の検査を検討しましょう。

*協会けんぽ・いきいきがん検診の場合は、料金が異なる項目があります。送付される案内資料や お手持ちのクーポン券をご確認ください。